

秩父市役所庁舎等建設工事設計業務についての提案

③秩父らしい庁舎計画について

秩父と呼応する建築

たくさんの秩父らしさを集める

「秩父らしさ」には、秩父の風土やまち、歴史の特徴など様々な側面が含まれています。それらの特徴を積極的に建築計画に活かし、取り込み、人の賑わいが生まれることによって本当の「秩父らしさ」が表現できると考えます。そして、将来にわたりその賑わいが継続し、祭のように50年、100年と続く長期的な視点に立ちながら、秩父らしい庁舎計画を提案します。



Step-1 秩父の風土に「触れる」「活かす」

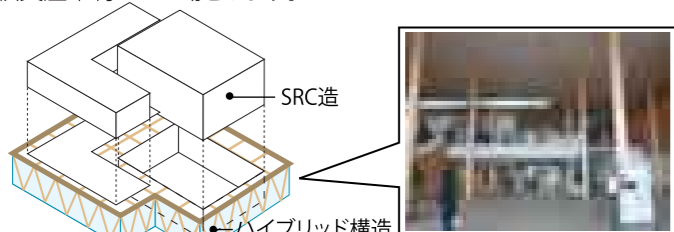
地球環境配慮のシンボルとして秩父産木材をPRします。

森

秩父産木材をふんだんに活用した木と触れ合う空間

■適材適所のハイブリッド混構造による木の利用

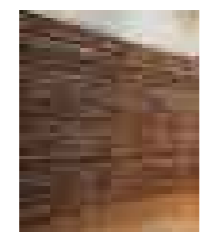
・4層の庁舎とホール部分はSRC構造を主体としますが、周囲を取り囲む低層の『コラ・ショ』は、木材と鉄骨材の組合せによるハイブリッド構造とし、木の表しとすることで積極的な環境配慮と秩父産木材PRの場とします。



●ハイブリッド構造のイメージ ●木に囲まれた内装イメージ (H市ホール)

■秩父産杉・桧材による内装仕上材木質化

・壁内装材には秩父産杉・桧材を積極的に活用します。特にホール内装は不燃処理を施した秩父産の木ブロックによる内装とし、従来の杉板のイメージと違う温かみや重厚感を積極的にアピールします。・庁舎カウンターや相談ブース等、家具についても秩父産杉・桧材を採用し、木のぬくもりや香りに包まれた空間とします。



●木ブロックイメージ (N県文化ホール)

風景

秩父の風景を取り込む

■施設に散りばめられたビューポイント

・秩父の原風景を望むことのできるビューポイントを施設の中に散りばめ、施設そのものに秩父の風景を取り込みます。・秩父の象徴ともいえる武甲山を眺める「武甲山テラス」を設置します。・国道に面してホールホワイエを設置し、まちの風景を取込みます。

櫻・銀杏

「風景の記憶」を再生した外構計画

■敷地の歴史を再生する

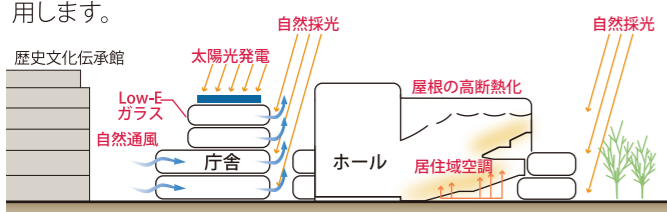
・敷地の歴史を見守ってきたシンボル樹木であるケヤキ、イチョウを中心に、ウッドデッキの縁がわ広場を整備し、市民活動の中心的な場とします。

光・風・水

秩父の自然の恵みを取り入れる

■新エネルギーの積極的な利用

・秩父市地域新エネルギービジョンを踏まえ、ガス・電気を主体としながら、太陽光などの新エネルギーを導入し、空調エネルギーや給湯エネルギーの負荷低減を図り、冬と夏のピークカットに対応します。・太陽光発電パネルを50KW設置し、総使用電力量の3～5%を賄います。・エコボイドにより自然採光、中間期の自然換気を行い、空調負荷低減を行います。・ビットに設置した雨水貯留槽により雨水をトイレ便器洗浄水に利用します。



●気候風土を活かしたシステム

Step-2 秩父のまちを「知る」「体験する」新たな回遊拠点

魅力ある秩父の賑わいの中心として、快適で賑わい溢れる施設とします。

庁舎

市民と共に創る新しい庁舎

■市民とのコラボレーションスペース

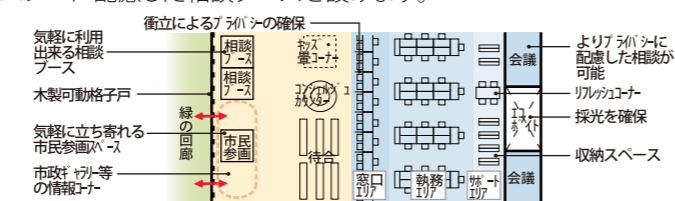
・窓際に面して気軽に立ち寄ることのできる市民参画スペースを設置し、まちづくりの拠点とします。

■使いやすさに配慮したサービス窓口

・ワンストップサービス窓口に加え、部門ごとに分かりやすいサインを設け、視認性に配慮します。また、コンシェルジュカウンターを設置することにより、スムーズな案内が可能となります。

■利用者のニーズやプライバシーに配慮

・キッズコーナーや畳コーナーなど、利用者のニーズに則した待合空間をつくらせ、市民が気兼ねなく窓口相談ができるようにプライバシーに配慮した相談ブースを設けます。



●1,2階窓口レイアウトイメージ

■将来を見据えたフレキシビリティ

・証明や謄本類の電子情報化など来るべき庁舎サービスの変化を見据え柔軟に対応可能なフレキシビリティ(床荷重、間仕切レイアウト、照明空調レイアウト、機器更新のし易さ等)を確保します。

議場

秩父を感じる開かれた議場

■秩父を感じる

・木造架構や内装材に秩父産木材を活用し、武甲山の眺望を借景にした秩父らしさを感じることが出来る開かれた議場とします。



●武甲山の見える議場のイメージ ●議場の参考イメージ (D市庁舎)

■多用途に利用可能

・傍聴席も含め議場内は、バリアフリーを徹底し、椅子、机は可動式とすることで、レセプション等の市民利用も可能とします。

会議・研修

賑わいを生むコラボレーションスペース

■1階:夜祭との一体利用が可能な「ケヤキフォーラム」

・広場に面した位置に配置した「ケヤキフォーラム」は、南側のガラス戸を開け放つことで、内外一体的に利用が可能な多目的スペースです。夜祭の花火を見るスペースや休憩所、運営スタッフの控室等、イベント時の賑わいの拠点にもなります。



●秩父夜祭時のケヤキフォーラム

■2階:秩父を活性化させる「イチョウスタジオ」

・2階の多目的スペースは、舞台のリハーサルやサークルの練習など中の活動が、建物内外外から見ることが出来るように壁をガラスで構成します。これにより、多目的スペースの活動が周辺の人々に伝わることによる宣伝効果や、活動がまちに動きや活気を与える効果が期待できます。



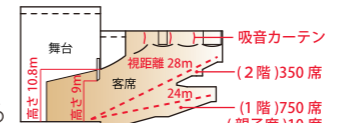
●イチョウスタジオの利用例

ホール

郷土の誇りとなる様々な演目に対応した発表の場

■郷土の木に包まれた一体感のあるホール

・最大視距離を28m以下に抑え、演者の表情が見える一体感のあるホールとします。・ホールは1階750席+2階バルコニー350席、親子席10席程度とし、最大1110人利用に対応するとともに、照明計画により1階席のみ利用で750席+親子席10席程度のホールとしても空席感の目立たない計画とします。



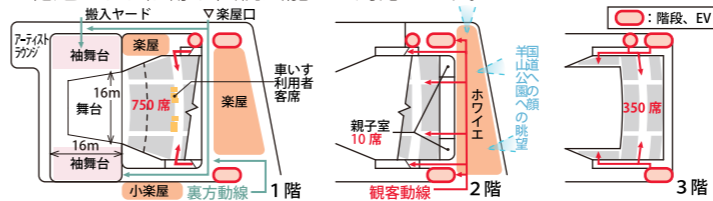
●ホール断面イメージ

■響きのよいホール

・音楽ホールから講演会まで、適切な音響性能を確保するために、一人あたりの気積を8㎡前後とし、残響時間は1.3～1.8秒程度を目標とします。また、カーテンによる残響調整を可能とします。

■オーケストラ・オペラから伝統芸能まで対応

・舞台間口16m(8間)、奥行16m(8間)、プロセニウム高さ9m(5間)～10.8m(6間)とし、様々な演目に対応するとともに、袖舞台は十分な広さを確保します。・可動床によりオーケストラピット、前舞台を設けるとともに、仮設花道により和物や伝統芸能にも対応します。



●舞台・客席イメージ

■楽屋・アーティストラウンジ

・楽屋は全て舞台面と同じ1階の国道側に設置し、観客動線と独立した楽屋動線を確保するとともに、出演者出待ちに、WC、アーティストラウンジを適切に確保します。

■搬入のしやすさに配慮

・搬入口は上手側に設置し、舞台搬入のしやすさに配慮するとともに、舞台高さは搬入口のプラットホームと揃えます。

外観

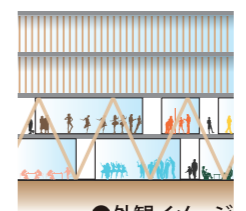
風土・歴史・活動を映し出すファサードデザイン

■秩父を映す

・低層部分『コラ・ショ』は、秩父産木材による美しい木構造と活動を映し出すガラスのファサードで構成します。3階・4階部分は秩父の歴史的な建物のシルエットにも繋がる水平の庇と、日射に配慮する木製の縦ルーバーにより秩父産木材による秩父ならではの環境配慮のファサードを表現します。

■いまを伝える「メディアウォール」

・メインエントランスを正面に、メディアウォール(大型映像表示装置)を設置し、議会の中継をはじめ、各種市のイベント情報をはじめ、秩父市の紹介など文化観光情報を伝えることが出来ます。



●外観イメージ

ユニバーサルデザイン

■分かり易く、誰もが障壁なく利用できる施設

・敷地内通路を含め、共用空間は全て段差のない施設とします。・階の移動は、車椅子対応EVと幅が広く蹴上げ・路面に配慮した階段を設置します。・誰でもトイレや授乳室を視認性の高い場所に設置し、ユニバーサルサインにより誘導します。・ホール車椅子席は、鑑賞しやすい中通路部分に設けます。1階席最後列には親子室を設けます。

Step-3 秩父の歴史に「寄り添い」「継承する」

ライフサイクルコストを縮減し、長寿命建築を目指します。

長寿命

50年、100年を見据えた長寿命化

■組織の変化に対応するフレキシビリティの確保・

長期的な視野にたったスケルトン・インフィル型の施設構成

■50年、100年後を見据えた長寿命化

・躯体の長寿命化、高耐久性仕上材によって何年も利用者に愛される建築を目指します。・清掃等の建物管理の容易性、交換機材の汎用性などによって、運営費用を低減します。

■徹底した設備更新費用の縮減

・改修の規模や時期を想定した設備予備スペースや部材荷重への適切なゆとり、各部材の取替え易さにより更新費用を縮減します。・あらかじめ壁により分割可能なラインを設定しておき、分割利用

■LCC 23%、LCCO2 29%縮減

・長寿命建築とすることにより、ライフサイクルコストを削減するとともに、自然エネルギー利用・高効率設備機材の採用などによりLCCO2を縮減します。CASBEEはSランクを目指します。

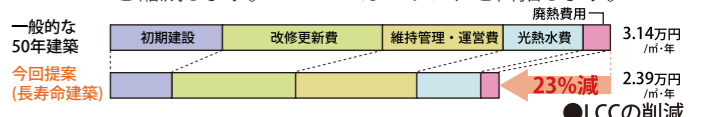


Table with 4 columns: Category (Building/Office/Hall/Meeting/Shared), Initial Investment, Renewal Cost, Maintenance/Operation, and Energy Costs. It shows a 23% reduction in LCC and 29% reduction in LCCO2 for the proposed building compared to a general 50-year building.

Table detailing cost breakdown for building and equipment, including categories like initial investment, renewal costs, maintenance, and energy costs, with specific measures for each.

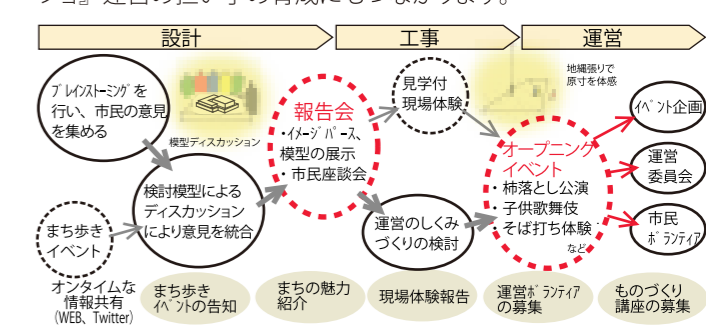
●LCC削減項目リスト

運営・育成

50年先も使い続け継承される活動の拠点

■運営ワークショップの開催

・設計の節目には建物の「つくりかた」と共に、「使いかた」「使われかた」を利用者と考えたワークショップを開催します。計画案の理解を深めると共に、使い方のイメージを膨らませ、『コラ・ショ』運営の担い手の育成にもつながります。



●「使いかた」ワークショップのプログラム例